

# 岩手県感染症週報

令和2年第10週 (3月2日～3月8日)

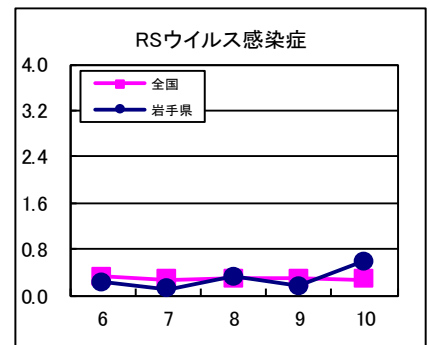
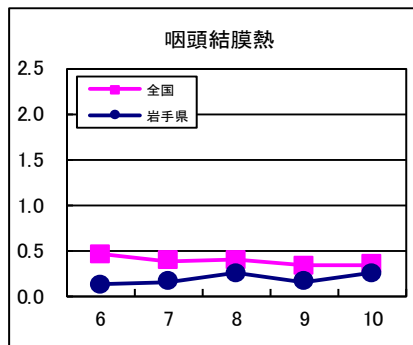
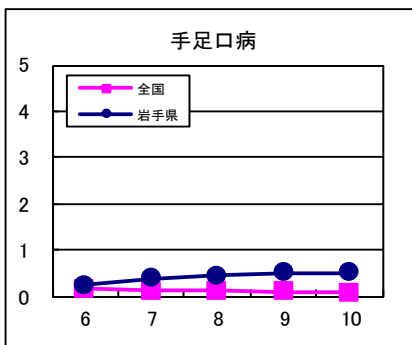
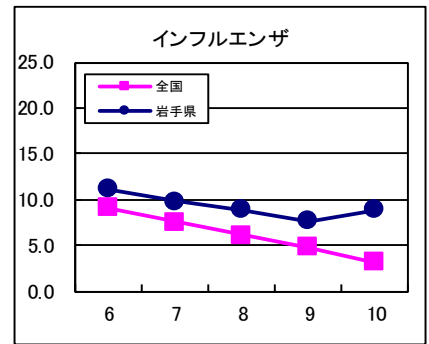
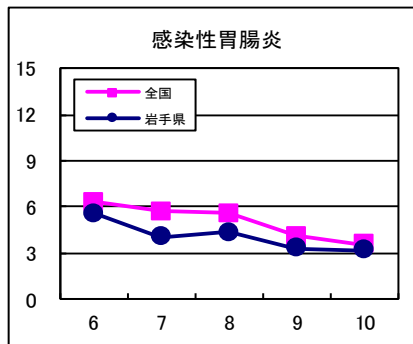
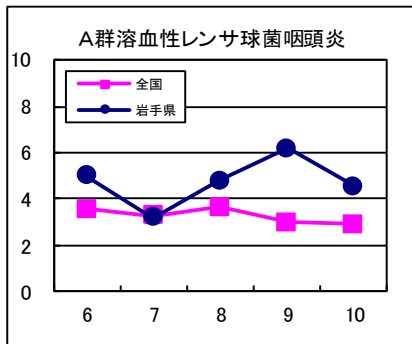
岩手県感染症情報センター

## 第10週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が3例ありました。そのうち1例は潜在性結核菌感染症でした。
- 3 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
  - ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が県央地区から1例ありました。患者は40歳代の男性です。
  - ・侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が釜石地区から1例ありました。患者は80歳代の男性です。
  - ・梅毒の報告が大船渡地区から1例ありました。患者は30歳代の男性です。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患) 等
  - ・新型コロナウイルス感染症の県の対応を、岩手県ホームページに掲載しています。発熱等の風邪症状がある場合は、登校や出勤等の外出を控え、次の方は保健所にご相談ください。風邪や発熱の症状が4日以上（高齢者、基礎疾患のある方は2日程）続く方、呼吸困難症状がある方。念のため、妊婦の方は早めにご相談を。
  - また、集団感染が発生した催しや施設等(ライブハウス、スポーツジム等)に居合わせた方も保健所にご相談ください。
  - 新型コロナウイルス感染症に関する情報《岩手県》(各保健所の連絡先)  
<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyuu/iryuu/kenkou/jouhou/1026260.html>
  - ・感染症予防にはこまめな手洗いが大切です。帰宅時や調理前後、食事前、トイレの後に加え、咳やくしゃみを手で受けてしまった時にも、せっけんとう流水で行うことが重要です。特にドアノブ、手すり、スイッチ等を介した接触感染を避けるため、口や鼻、目の周りは不用意に触らないよう注意してください。また、手洗いや咳エチケットに加え、換気を励行する、人の密度を減らす、近距離での会話や発声を避けることも重要です。

## 最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが異なることに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

※2018年1月1日より百日咳が5類感染症 (定点把握疾患) から5類感染症 (全数把握疾患) へ変更されました。  
 ※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾患となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		6	7	8	9	10		
インフルエンザ	岩手県	11.08	9.82	8.83	7.61	8.86	→	☆
	全国	9.04	7.49	6.12	4.77	3.13		
RSウイルス感染症	岩手県	0.22	0.10	0.32	0.15	0.59	↗	☆
	全国	0.32	0.27	0.29	0.28	0.27		
咽頭結膜熱	岩手県	0.12	0.15	0.24	0.15	0.24	→	☆
	全国	0.45	0.38	0.39	0.33	0.34		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	5.00	3.20	4.80	6.20	4.54	↘	☆☆
	全国	3.56	3.26	3.66	2.99	2.92		
感染性胃腸炎	岩手県	5.61	4.07	4.34	3.29	3.17	→	☆
	全国	6.35	5.73	5.57	4.13	3.57		
水痘	岩手県	0.29	0.29	0.46	0.37	0.44	→	☆
	全国	0.39	0.37	0.40	0.38	0.37		
手足口病	岩手県	0.24	0.37	0.44	0.51	0.51	→	☆
	全国	0.15	0.12	0.11	0.09	0.08		
伝染性紅斑	岩手県	0.46	0.17	0.34	0.41	0.17	→	☆
	全国	0.40	0.31	0.30	0.25	0.25		
突発性発疹	岩手県	0.20	0.41	0.15	0.27	0.37	→	☆
	全国	0.29	0.29	0.30	0.25	0.26		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.02	0.07	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.05	0.05	0.07	0.05	0.05	→	
	全国	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05		
急性出血性結膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.43	0.21	0.43	0.43	0.43	→	☆
	全国	0.41	0.41	0.44	0.42	0.42		
細菌性髄膜炎	岩手県	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0.03	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.16	0.00	0.00	0.16	0.05	→	
	全国	0.29	0.29	0.39	0.35	0.35		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	-	0.00	0.01	0.00	0.01		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.00	0.16	0.05	0.05	0.00	→	
	全国	0.03	0.06	0.01	0.03	0.02		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	15	11	7	9	6		
	全国	465	337	195	149	108		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※ジカウイルス感染症が2016年2月15日から四類感染症に追加されました。

(患者発生数)

分類	疾病名	(週)					累計	全国	
		6	7	8	9	10		10	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 ( ) 内は潜在性結核感染症患者再掲	5 (2)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	20 (4)	281	3127
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	1	18
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	13	207
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	7
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	1
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	13	114
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	3	38
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	4
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	1	3
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	0	4
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	1	3
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	56
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	31
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	6
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	7	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	1	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	17	272	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 6	7	8	9	10	累計	10	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	1	14	109
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	1	43
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	0	0	0	1	18	278
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	0	0	0	5
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	0	12	206
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	4	25
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	1	3	22	197
	後天性免疫不全症候群	1	0	0	0	0	2	8	171
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	8
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	0	0	0	1	2	6	105
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	10
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	2	0	0	0	4	39	580
	水痘 (入院例)	0	0	0	0	0	0	2	82
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	梅毒	0	0	0	0	1	2	49	964
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	3	22
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	13
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	22
百日咳	0	1	0	1	1	9	134	1580	
風しん	0	0	0	0	0	0	7	64	
麻しん	0	0	0	0	0	0	1	7	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	2	
※ 新型コロナウイルス感染症	-	0	0	0	0	0	197	1058	

※指定感染症として新型コロナウイルス感染症 (令和2年2月1日～)

今注目の感染症

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は細菌やウイルス、寄生虫など多種多様な原因によっておこる胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年では、流行の前半ではノロウイルスが、後半ではロタウイルスが患者から多く検出されています。

例年、感染性胃腸炎の報告数は、12月～2月頃が一番多いですが、6月頃まで報告が多い状態が続くこともあり、今後の発生の動向に注意が必要です。

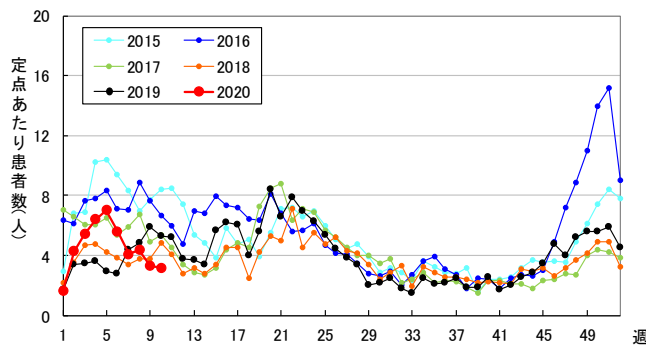
【参考】・ノロウイルスに関するQ&A (厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

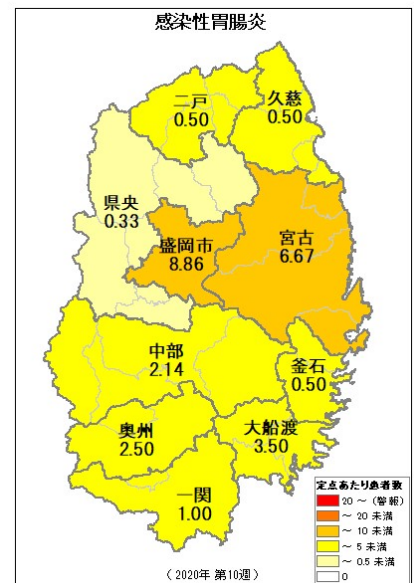
・感染性胃腸炎とは (国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/383-intestinal-intro.html>

感染性胃腸炎、岩手県 (2015-2020)



岩手県における感染性胃腸炎週別患者報告数 (2015年～2020年第10週)



第10週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報 (行政区域データ)」をもとに岩手県が編集・加工した。  
※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用した。(承認番号 平29情使、第675号)

## 今注目の感染症

### 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は、コロナウイルス科ベータコロナウイルス属の新型コロナウイルス<sup>※1</sup>による急性呼吸器症候群です。2020年2月1日に指定感染症<sup>※2</sup>となりました。

「中華人民共和国（以下、中国）湖北省武漢市保健衛生委員会によると、2019年12月以降、同市で原因不明の肺炎患者が発生しており、2020年1月7日には中国当局が新種のコロナウイルスを検出した。」と世界保健機構（WHO）が発表しました。

また、WHOは、2020年1月31日に、新型コロナウイルス感染症の発生状況について「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC：Public Health Emergency of International Concern）」を宣言し、同3月11日には、「パンデミックといえる」との認識を示しました。

日本国内では、一部地域で小規模な患者の集団（クラスター）が確認されており、クラスターが次の集団を生み出さない為の防止策がとられています。

3月12日現在、岩手県での届出はありません。季節性インフルエンザ対策と同様に咳エチケットや手洗いなど普段からの感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

また、岩手県では、各保健所及び県庁医療政策室に、電話相談窓口として「帰国者・接触者相談センター」を設置しています。次の症状がある方は、ご相談ください。

- ・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。
- ・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある方。

※高齢者や基礎疾患のある方は、上の症状が2日程度続く場合。また、妊婦の方は早めにご相談ください。

また、集団感染が発生した催しや施設等（ライブハウス、スポーツジム等）に居合わせた方も保健所にご相談ください。

詳しくは岩手県の新型コロナウイルス感染症のホームページへ↓

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/kenkou/jouhou/1026260.html>

新型コロナウイルス感染症の最新情報については、厚生労働省及び国立感染症研究所のホームページで随時更新されています。ご確認をお願いいたします。

◇参考 新型コロナウイルス感染症について－厚生労働省－

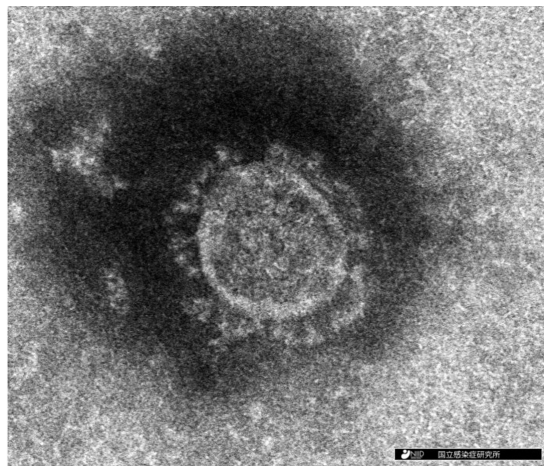
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

新型コロナウイルス（2019-nCoV）関連情報について－国立感染症研究所－

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/9324-2019-ncov.html>

※1 新型コロナウイルス：ベータコロナウイルス属のコロナウイルスで令和二年一月に中国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限りません。

※2 指定感染症：感染症法で規定された2類感染症と同等の措置（感染拡大に防止に必要な保健所長による入院措置や就業制限など）が可能となります。





今注目の感染症 (つづき)

インフルエンザ

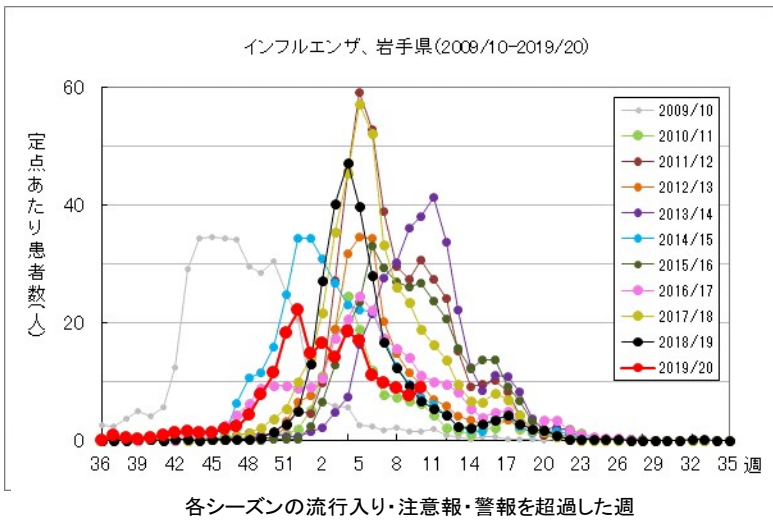
インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられます。潜伏期間は1日～3日程で、38℃以上の発熱、頭痛、筋肉痛、関節痛などの症状が突然現れ、鼻水や咳などの呼吸器症状が続きます。

岩手県では、例年、11月下旬から12月上旬頃に発生が始まり、1月から3月頃に患者数が増加します。今シーズンは第42週に流行入りし、第50週には季節性インフルエンザでは過去10年で2番目に早く注意報が発令されました。県環境保健研究センターで実施したウイルス検査ではA(H1N1)pdm09亜型が多く検出されていましたが、A(H3N2)亜型及びB型(Victoria系統)も検出されています。現在、医療機関で実施したキットの結果では、B型が多くなっています。

主な感染経路は咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、飛沫の付着物に触れた手指などを介した接触感染です。予防には、咳エチケット(有症者自身がマスクを着用する、咳やくしゃみの際はティッシュやハンカチで口や鼻をおさえる)による飛沫感染対策と、手洗いによる接触感染対策の他、ワクチン接種が効果的です。ワクチンによる予防効果が現れるまでには2週間程度かかるため、早めの接種が勧められます。接種を希望される方は事前に医療機関にお問い合わせください。

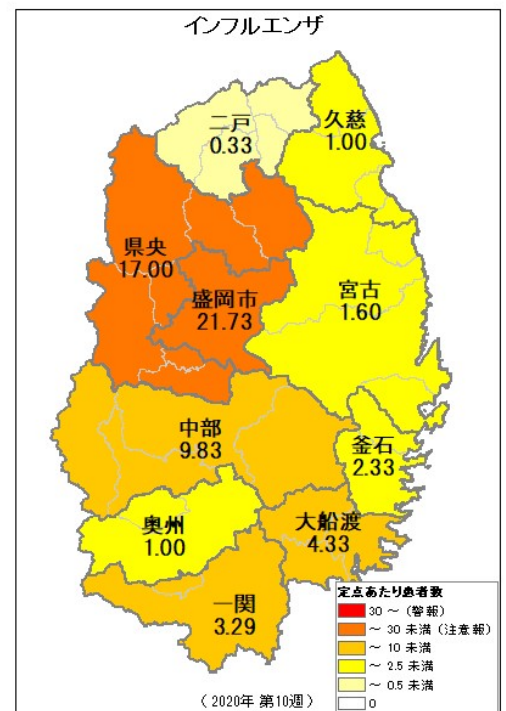
【参考】

- ・インフルエンザとは(国立感染症研究所)  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/219-about-flu.html>
- ・インフルエンザ ～総合ページ～(厚生労働省)  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/index.html)
- ・インフルエンザ ～疫学情報～(国立感染症研究所)  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/a/flu.html>



シーズン	流行入り	注意報発令	警報発令	ピーク	定点あたり患者数
	定点あたり患者数	定点あたり患者数	定点あたり患者数		
2011/2012	1.0人	10.0人	30.0人	5	58.98
2012/2013	51	3	5	5	34.58
2013/2014	50	2	4	5	41.28
2014/2015	48	5	8	11	34.30
2015/2016	47	48	52	1	32.88
2016/2017	1	3	6	6	24.45
2017/2018	45	2	-	5	56.98
2018/2019	48	1	3	5	47.11
2019/2020	42	50	3	4	

※2009/2010シーズンは新型インフルエンザ



※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報(行政区域データ)」をもとに岩手県が編集・加工した。  
 ※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用した。(承認番号 平29情使、第675号)

今注目の感染症 (つづき)

風しん

風しんは、風しんウイルスによって引き起こされる、発熱、発疹、リンパ節の腫脹を特徴とする急性の発疹性感染症です。風しんウイルスは、患者の飛沫（唾液のしぶき）などによりヒトからヒトへ感染します。潜伏期間は2週間程度で、発疹が出る前後1週間位がヒトへの感染力があるとされています。風しんに免疫を持たない妊婦の方が妊娠第20週頃までに感染すると、「先天性風しん症候群」という目や心臓、耳などに障害を持つ子供が生まれる可能性があり、妊婦への感染を防止することが重要です。

全国では、2018年第30週以降、関東地方で報告数が大幅に増加し、2018年の累積報告数は2,946人、2019年の累積報告数は2,306人と全国流行があった2013年（14,348人）に次いで2番目と3番目に多い報告数となりました。2020年は第9週までに、56人が報告され、男性の報告数（42人）が女性の報告数（14人）の3倍となっており、今回の流行は、風しんの抗体を保有していない30～50代の男性で感染が拡大しているとみられます。

岩手県では、全数把握疾患となった2008年以降、2020年第10週までに23人が報告されています。全国流行があった2013年には9人の報告がありました。

予防にはワクチン接種が最も効果的です。2回の定期予防接種（1歳児と小学校入学前1年間）を徹底しましょう。また、2021年度末までの期間に限り、これまで風しんの定期接種を受ける機会のなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性（現在39～56歳）が定期予防接種の対象者として追加されました（図3）。また、妊婦への感染を防止するため、予防接種歴や抗体陽性が確認できない「妊婦の夫、子どもや同居家族」、「妊娠希望者や妊娠の可能性が高い女性」の方は、任意で予防接種を受けることが推奨されます。

【参考】・風疹とは（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/430-rubella-intro.html>

・風疹急増に関する疫学情報：2020年3月4日現在（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/rubella/2020/rubella200304.pdf>

・先天性風しん症候群（CRS）の報告：2020年1月22日現在（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubella-m-111/700-idsc/8588-rubella-crs.html>

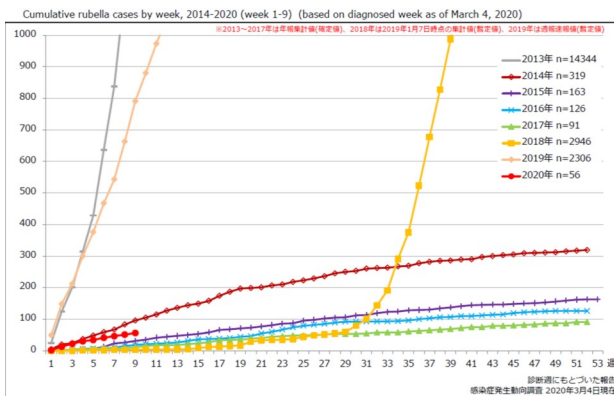


図1 全国における風しん累積報告数の推移 (2013～2020年第9週) (国立感染症研究所HPより)

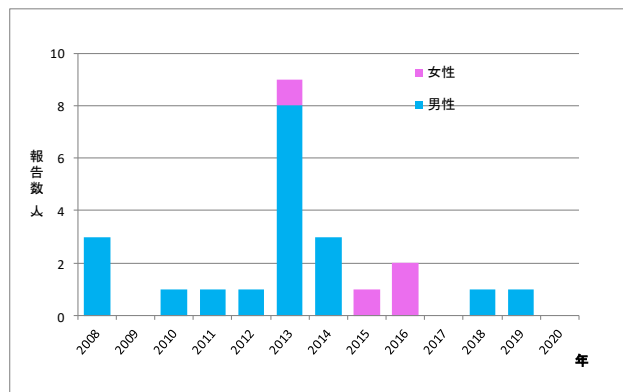
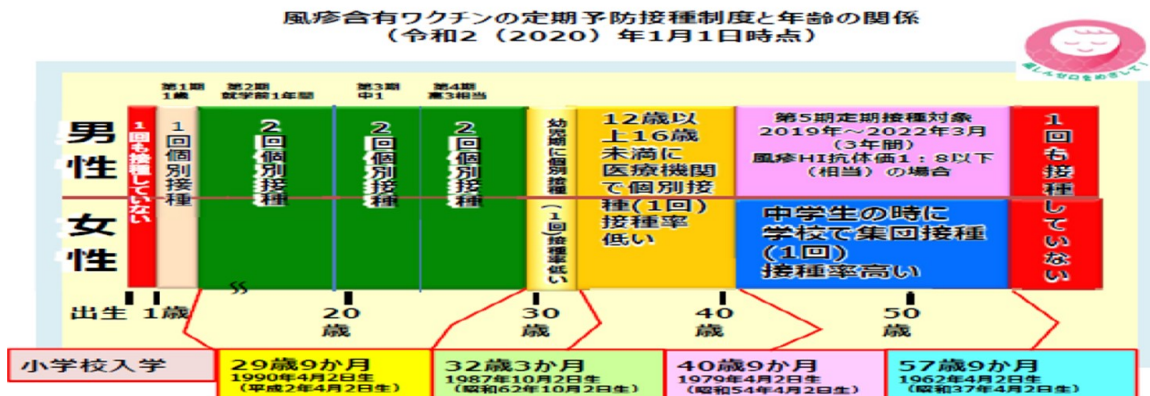


図2 岩手県における年別・性別風しん報告数 (2008～2020年第10週)

図3



## 集団感染情報

○インフルエンザによる学校等の休業措置について（3月5日から3月11日発表分）

- ・岩手県 3件（盛岡市を除く）
- ・盛岡市 0件

詳細は岩手県医療政策室のホームページを御覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/kenkou/influ/1023628.html>

## 病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありません。

## 医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

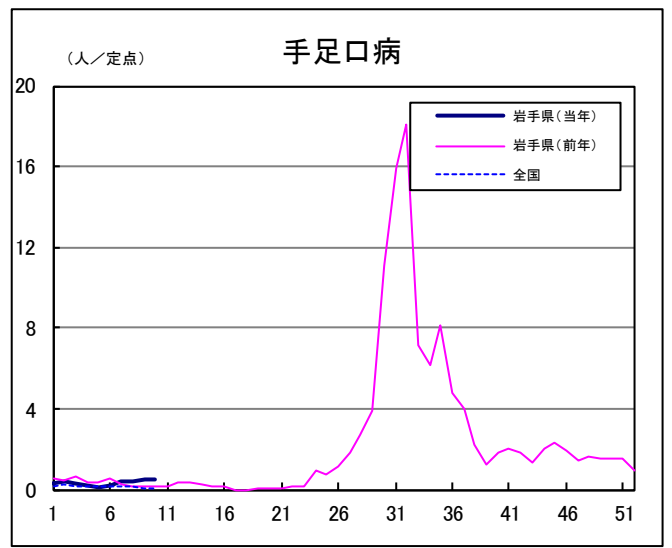
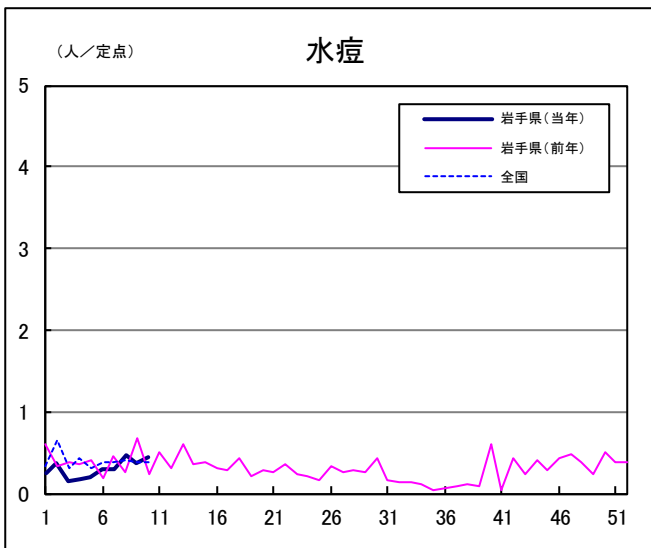
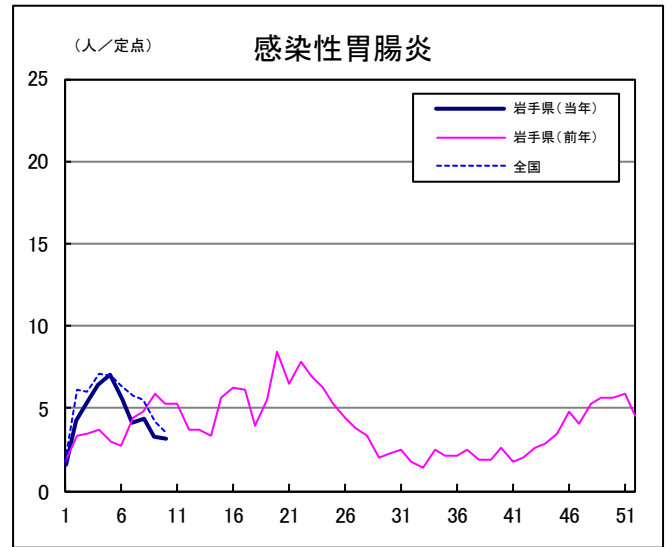
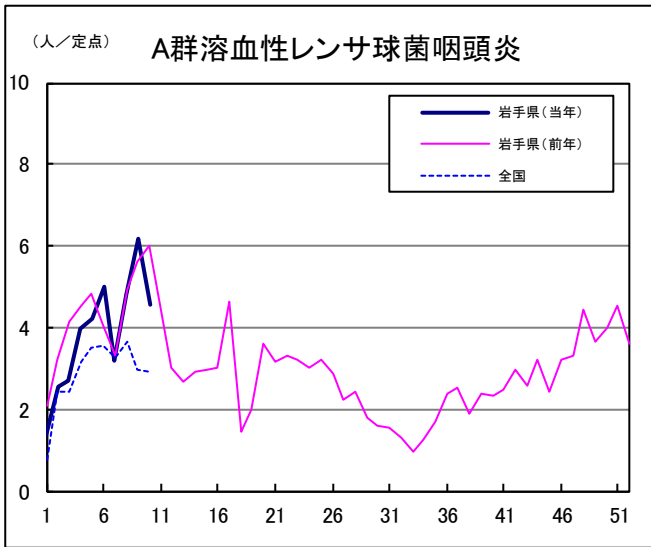
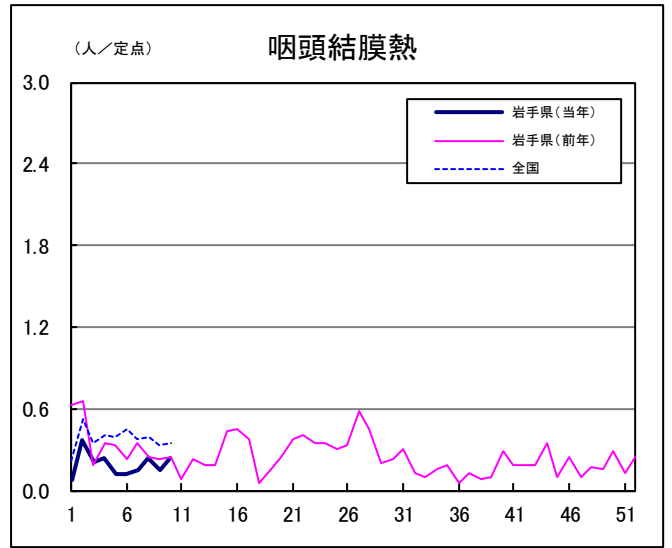
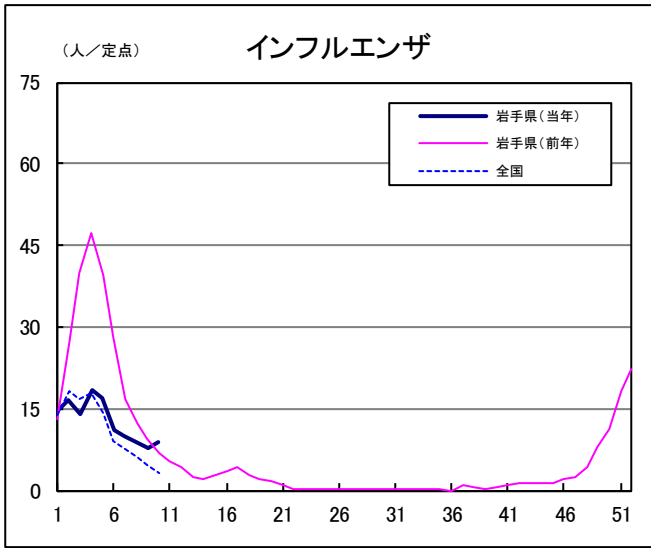
## Q & A

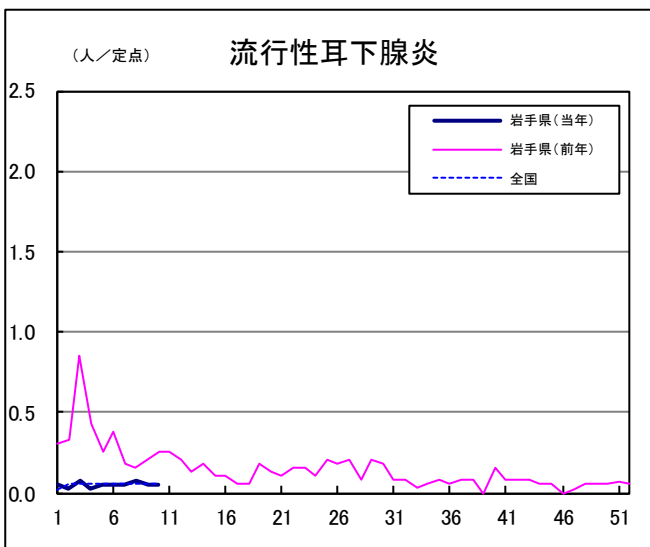
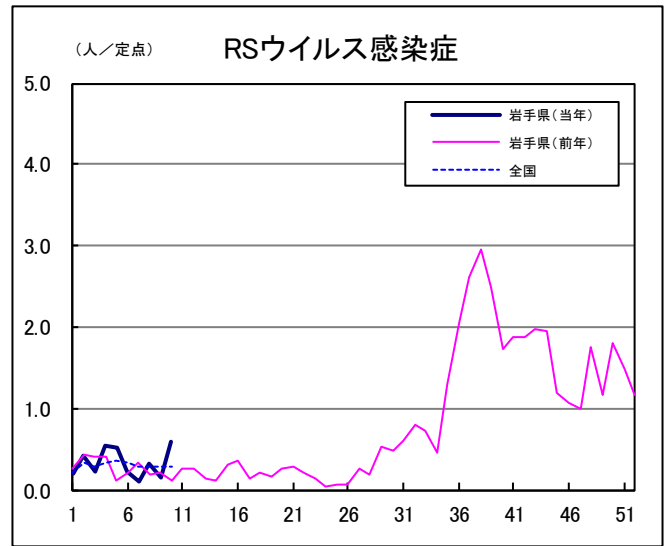
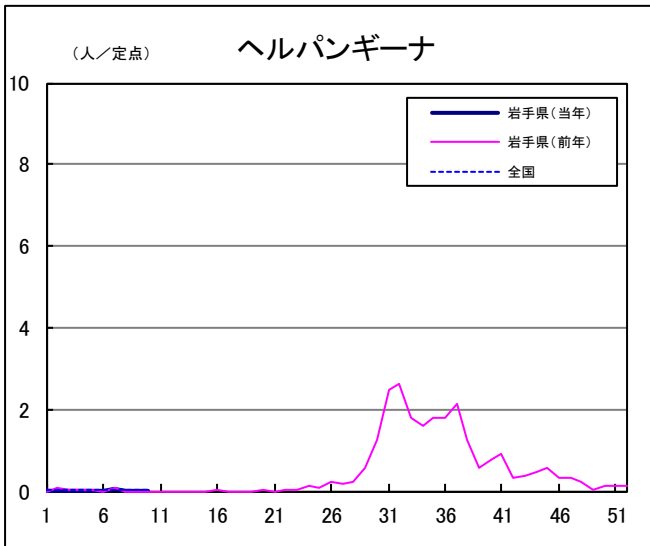
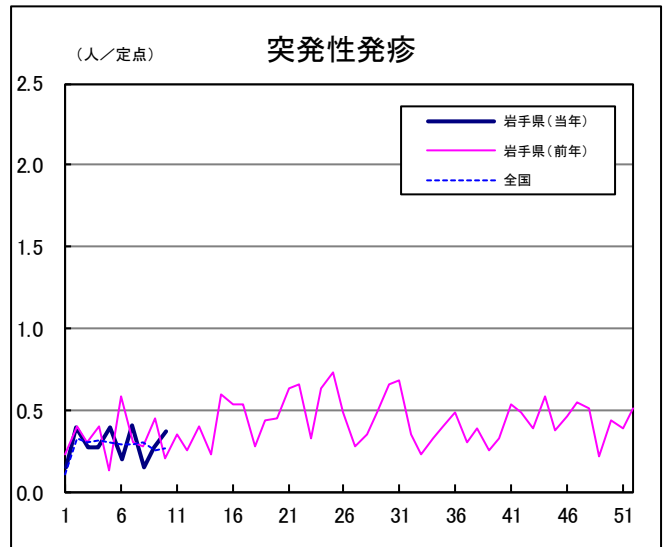
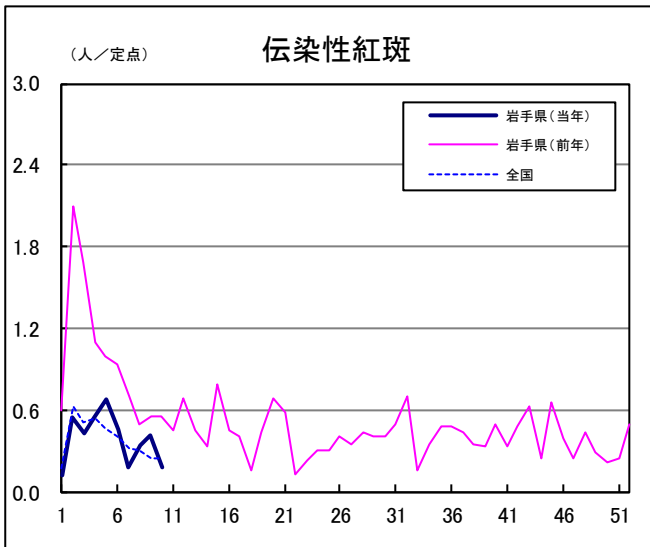
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

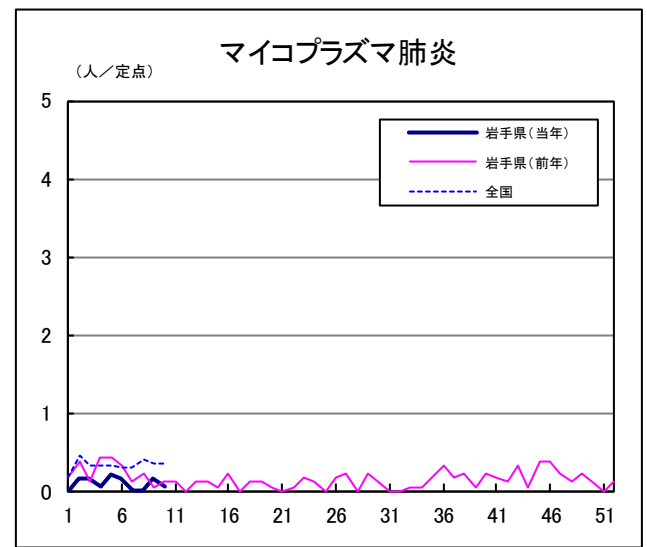
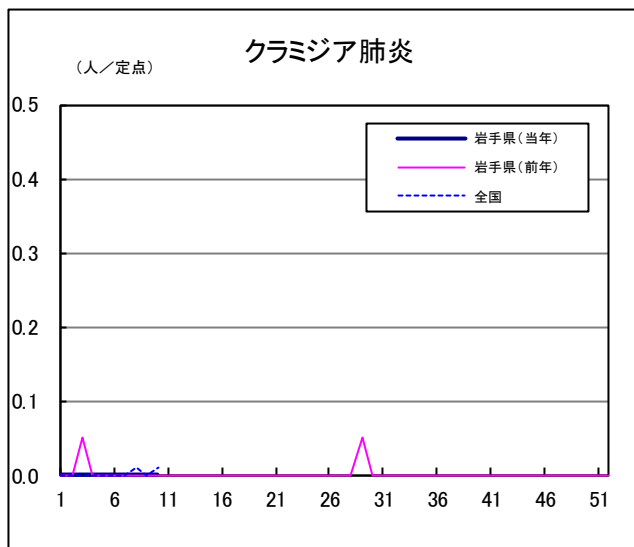
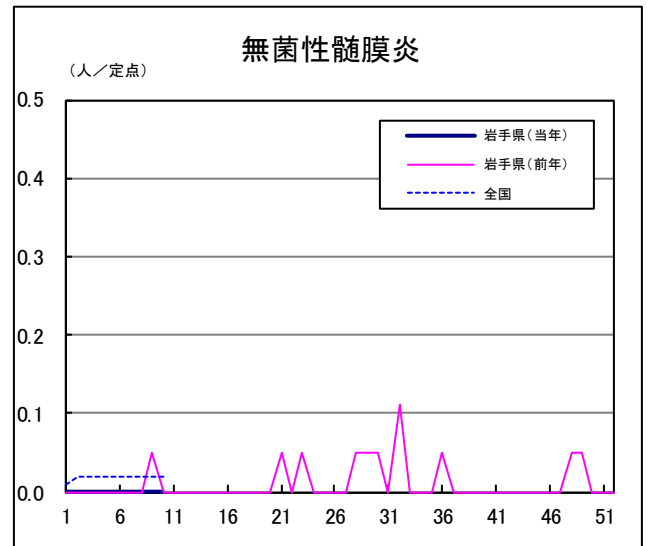
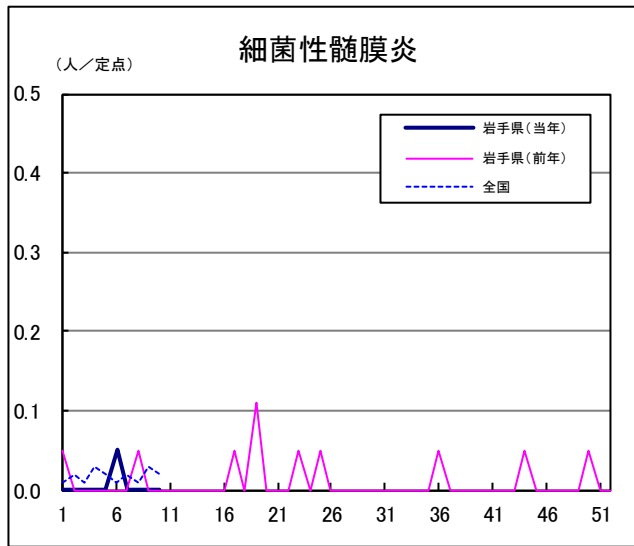
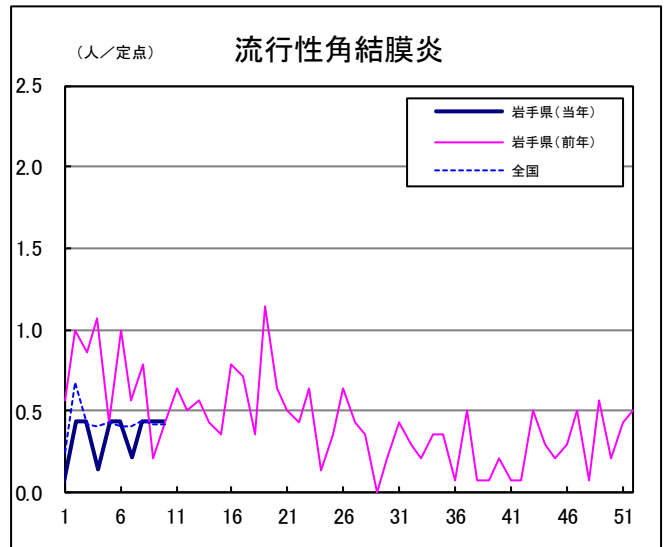
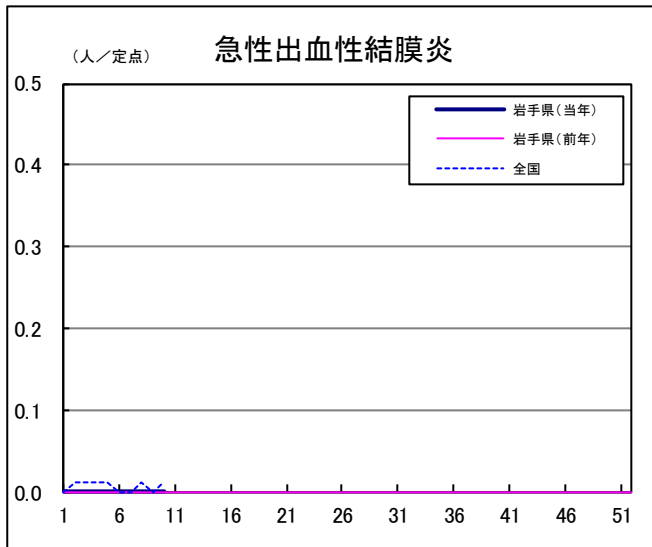
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16  
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp



疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別	インフルエンザ	小児科 定点	眼科定点	基幹定点
岩手県		66	41	14	19
盛岡市		11	7	3	4
県央		9	6	2	1
中部		12	7	2	4
奥州		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		6	4	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 令和2年第10週 令和2年3月13日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター  
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター  
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<https://www.pref.iwate.jp/soshiki/hofuku/1016013.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>